



1, 美男美女になる

- ①声が美しい人は、美しい。
- ②言葉遣いが美しい人は、美しい。
- ③口角が上がっている人は、美しい。



2, 頭がよくなる

- ①発想が豊かになる。
- ②知識が増える。
- ③解釈力・思考力が身につく。
- ④要らないものが捨てられる。

大切なことが
わかる

アナウンス原稿作成で見てみましょう

発想(NHK杯の場合)

- ・校内ニュース
 - ・意外性の発見
- 書道の迫先生とハト
ハトが巣を作る
先生が追い払う
ハトが先生の顔を見ると逃げる

知識

- ・なんというハト？なぜ学校に巣を作る？
- ・なぜハトがいたらいけないの？

取捨選択

- | | | |
|----|----------------------------------|-----------------------|
| 初稿 | ハトの巣作り・追い払う方法
「ハトより生徒の方がかわいい」 | 当たり前で
しょ |
| 二稿 | カワラバトの被害
「来なくなるとうれしい」 | そのために
やってるんで
しょ |
| 三稿 | 追い払うー被害ー追い払う
「生徒は・・・知らない」 | 英雄になってる
でしょ |
| 四稿 | 表現が長い・書き言葉
「先生の戦いはこれからも続きます。」 | 陳腐で
しょ |

朗読で考えてみましょう

「永訣の朝」 宮沢賢治

「あめゆじゅとてちてけんじゃ」

- ・賢治はどこで聞いているか。
- ・なぜ4回も繰り返されているのか。

(Ora Orade Shitori egumo)

(うまれで くるたてこんどは
こたに わりやのごとばかりで
くるしまなあよに うまれてくる)

Ora Orade Shitori Egumo

Cogito Erugo Sum

(我思う、ゆえに 我あり) ルネ・デカルト

ラテン語の響き...神のごとき清らかなし子の精神を表す？

だが、ラテン語のように読んでも意味がわからない。

岩手の方言で読んだらどうなるか？

3, 人生が3倍面白くなる。

～ドラマ制作～

①ドラマは「闘い」 (西澤實先生)

対立軸が明確で、
キャラクターがしっかり設定できれば、
登場人物が勝手にしゃべり出す。

富田奈央子(岩手放送) 三部作

1年 「レッスン」

南京事件で曾祖父を殺された在日中国人の女の子と
原爆で曾祖父を失った日本人の女の子

2年 「書架の片隅で」

友達がいなくていつも図書館の片隅にいたけれど、
孤独のうちに死んでしまった女の子の幽霊と、誰か
らも頼りにされるリーダーシップの固まりのような
図書委員長の女の子。

3年 「ファインダーの向こうに」

才能はないけれど、黙々と練習を続ける陸上部の女
の子と、天才的写真家を祖父に持ち、コンテストの
賞を総なめにする写真部の女の子。

書架の片隅で

3, 人生が3倍面白くなる。

～ドラマ制作～

②「大ウソ」の中の「まこと」。

「まこと」= 人が人生の意味と出会う瞬間

「まこと」= 展開において矛盾がないこと。

ラジオドラマの場合

「未来からありがとう」(ラジオ徳島・ラジオ大賞)

ピアニストを目指していたが、大人の汚さに接して何もかもやる気がなくなった美奈子が、ある日見つけたケータイは、過去の美奈子につながっていた...

「終点までに」(2007年NHK杯全国大会第3位)

将来のことなど真面目に考えてないユミはある日、乗ったバスが急停車したはずなのに、不思議なバスにワープする。そのバスの停留所は、職業の名前になっていて、自分の将来を決めている人だけがそこで降りることができる。美鈴はバスで車掌と話しているうちに、幼い頃バスに引かれそうになったことを思い出し...

「カワワラワ」(2010年NHK杯広島県大会第1位)

何をやってもダメと自分に自信がない春菜は、ある日川でおぼれている人を見て助けようとロープを投げる。上がってきた「ヒト」は、なんとカッパだった...

終点までに

きっかけがホントの事件の場合も

「彩花(チエファ)」(2011年NHK杯全国大会優良賞)

「優紀」は、その名前のために小さい頃からずっと女の子に間違えられるのが嫌でしかたがなかった。放送部員の優紀は、全国大会出場を祝した横断幕で自分の名前だけ赤い色で書かれているのを見てプチ切れてしまう。横断幕を下ろすよう言い下がる優紀に、今度は顧問が切れて、「そんなら塗り替えりゃいいんだろ!」ということになり...

「とんびにさらわれた」(2012年NHK杯広島県大会第1位)

田舎の大学に進学した一成君。ある日の昼休み、友達と中庭で昼ご飯を食べようと、鞆からあんパンを出した。食べようとして、ちよと友達の方を向いたとたん、なにやら目の前を風が通り過ぎていった。一瞬の後、一成君の手の中には、あんパンが入っていたビニール袋だけが残り、あんパンは消えていた...

事実だが、そのままではドキュメント。ここからどうデフォルメするか...

とんびにさらわれた

3, 人生が3倍面白くなる。 ～ドラマ制作～

③伏線と小道具、洒落た会話。

④オチの面白さ。

⑤本歌取りもよし。

ファインダーの向こうに

「伏線」を張る

たとえば…

- ・「書架の片隅で」
聡子の言葉…「どうして私を？」
- ・「終点までに」
バスに引かれそうになった女の子
タイトル

「本歌取り」とは？

「ファインダーの向こうに」と
「君がいてくれたから」 錦城高校（東京）

互いに接点がない二人が、それぞれの強さに惹かれあい、ひそかにお互いを心の支えに高校生活をがんばる。最後に二人は出会い、互いに「ありがとう」と言葉を送り合う。

テーマと「ありがとう」という言葉の使い方は同じ…でも、全く異なる作品。（こんな作品を作りたいという憧れ）

4, 人生が3倍豊かになる。 ～ドキュメント制作～

- ①「ドキュメントはドラマだ！」
～事実は小説よりも奇なり～
- ②今、なぜそれを伝えるのか。
- ③自分はどこにいるのか。
（「他人事」になっていないか。

ドキュメント作りで大切なこと

- ①ネタ… a アンテナを張る
b 多様な視点を持つ
- ②人間関係…いい「絵」・コメントは人間関係作りから。
- ③取材…繰り返し、粘り強く。
- ④技術（カメラ・音声・編集 etc.）
「一番早く、一番いい場所へ行け」
「音をきちんと録れ」

AP 「こんばんは、夜廻りです」

第29回全国高等学校総合文化祭（青森大会）優秀賞

「先生、カメラ、回せません。
しばらく、ボランティアします。」

ホームレスの人々に毎週お弁当を作って届けている女性を取材。初めて同行して帰ってきたとき、生徒が言った言葉。

テレビドキュメント 「市電と街と僕と」

平成23年度全映協グランプリ 学生部門 優秀賞

「お母さんの写真、探してくれました」

市電を追いかけて写真を撮り続ける高校生を取材。市電は亡くなったお母さんの記憶と結びついていた。



5, 人脈ができる ～情けは人のためならず～

- ①資金が集まる。
- ②食料が集まる。(差し入れが来る)
- ③機材が新しくなる。



6, テレビが3倍楽しめる

- ①内容を楽しむ。
- ②作り方を楽しむ。
- ③間違い探しを楽しむ。

7, 社会人基礎力が養える

- ①あいさつができる。
- ②コミュニケーションができる。
- ③気配りができる。
- ④打たれ強くなる。

8, 特技ができる

- ①司会ができる。
- ②朗読ボランティアができる。
- ③編集ができる。
- ④腹話術・ハモニカ・剣玉・・・取材をきっかけにはまる



※口の中の空間を大きくして、舌を自由に動かせる人は、声がよく響き、滑舌もよくなる。
そういう人は腹話術ができます。

放送部には、

出会いがある

絆がある

感動がある

青春をかけて 悔いなし 放送部





ご静聴ありがとうございました。